4) 研修員受け入れ（1991年度までの累積102人、全分野）

5) 専門家派遣（1991年度までの累積７人、全分野）

6) プロジェクト方式技術協力案件はなし

7) 1989年協力隊派遣開始（1991年度までの累積38人、医療分野なし、今年度より派遣予定）

Mpilo Central Hospital における協力は、ジ政府の中央病院医療施設リハビリ計画に基づき実施されたものである。当初、ジ政府は母子医療の重要性に鑑み、ハラレ中央病院小児センター（小児病棟）とムピロ中央病院の母子・新生児ユニットの両施設の強化を要請したが、わが国との協議の結果、ハラレ中央病院小児科部門のリハビリの必要性は認めるが、ムピロ中央病院産科部門のリハビリにより高いプライオリティを置き実施された経緯がある。

８－６－２　保健医療分野におけるニーズ

1980年の独立以来、ジンバブエ政府は公正な開発（Development with Equity）を目標に、農村部を中心とした地方の充実に力をいれてきた。このことは保健医療分野でも同様で、公平な保健医療（Equity in Health）を旗印に、プライマリ・ヘルスケアーの充実に重点をおいた、保健医療システムづくりが実施され、保健医療水準は大きく向上した。特に、地方における医療は rural health center を中心に比較的整備され、機能してきた。

保健医療分野における教育、研究面にもそれなりの力が入れられてきており、いずれの分野でも南部アフリカ地域でのリーダー的立場にある。特に、保健医療における研究では、Blair Research Institute を中心にフィールドと直接に結びついた研究が実施され、安全な飲料水の確保や衛生的トイレの普及などに関する研究が本国並びに周辺国の農村部の開発に果した役割は無視できないものである。

しかしながら、このような発展も1980年代後半に入り、急速に減速し、様々な問題が生じてきている。社会主義体制下における経済政策の失敗、HIV/AIDS の蔓延、91／92年に見舞われた今世紀最悪ともいえる干ばつなどで経済は破綻状態に陥り、保健医療分野に対する予算は急減している。このような経済状態を打開するために、政府は世界銀行による構造調整政策を導入したが、このことが益々保健医療分野における予算の減少とサービスの低下を招く結果となっている。1991年以降の２年間に一人当たりの実質の政府保健予算は30％も減少しており、今後もこうした状況の好転は望めない。しかも、経済好況時に立案されたプランに基づき、1988年以降急激に病院建設等資本支出を増額させており、今後その維持のための負担が一層増加するものと予想されている。ジンバブエ政府保健省は、このような予算的大問題を抱えながら、保健医療問題の改善に取り組んでいるというのが現状である。以上のような困難な保健医療事情の中で、わが国に対する協力ニーズを考えてみたい。

8－6－3　referral 病院並びに district 病院の整備と技術協力

上述したような、政府における地方の小規模の医療施設の整備および疾病の予防活動に比重をおく医療政策は、パリレンヤトワ病院やハラレ中央病院に代表される referral 病院や二次病院の相対的な機能低下を招いている。また、国際援助機関の動向も PHC 優先の援助であり、二次、三次医療施設へ対する援助は非常に少ない。より低次の施設の拡充をめざした政策が健康水準の向上に寄与したことは認めるが、国の保健医療サービス全体に占める二次、三次医療施設の役割が軽視され、一次施設と二次、三次医療施設との間のアンバランスが目立ってきているのは事実である。二次、三次の病院では、大半の診断、治療器具は老朽化しているか、不足しており、本来の機能を果たせる状況とは到底いえない状況である。

一方、ジンバブエにおける疾患像は、特に都市部において、感染症を中心にした途上国型から心・脳血管疾患や悪性新生物、交通外傷などの先進国型への疾患構造の転換期にあり、これらの疾患に対処できる医療施設、サービスも要求されている。

二次、三次の医療サービスを維持する経費を勘案すると、現在以上の経費が必要となるこれらのサービスに対する援助は十分に考慮し、高度な部分は可能な限り抑えた協力が必要なことはいうまでもない。

以下に具体的な援助案件を列記し、その及ぼす効果、問題点を簡潔に述べたい。

1)　ハラレ中央病院に対する医療機材整備（建物を含む）

ジ政府は既に本病院小児病棟の新設並びに機材整備に関する要請書を正式にわが国に提出している。これによると、現在 CIDA により進められている事業は全体計画の三分の一であり、残りの三分の二の建物並びに機材整備をわが国に要請した。計画概要は、新生児集中治療施設や小児専用手術室等を含めた約200床規模の小児病棟を病院敷地内に新しく建設するというもので、既存の小児病棟はここに移転する。国全体の小児に対する高度医療センターをめざしたものであるが、本病院全体のおかれている現況を勘案すると、小児部門だけが突出した機能を持つことになる。また、検査室や放射線室などの補助センター部門の整備計画がない状態では高度な機能を生かすこともできない。病院全体のレベルアップが緊急に必要であり、診断、治療を優先した小児センター構想は時期尚早である。現在実施中のムピロ中央病院産科病棟整備計画は、先に述べたように、本病院小児病棟と抱き合わせで要請されたが、事前調査団との協議の過程で、ジ国唯一の医学部であるジンバブエ大学の教育病院の一つとしての充実を考慮したとき、小児部門のみに協力を実施しても何等効果が得られないことを、本案件のプライオリティを低くした理由の一つとしてあげている。

病院全体、特に検査室、手術室等のセンター部門を中心とした医療機材の整備は、本病院のおかれている状況からみて意義あるものである。先述したように、政府や国際援

助機関の一次医療優先政策のために、本病院の整備は忘れ去られた感があり、その整備は緊急を要している。また、本病院は referral 病院に位置づけられてはいるが、現状ではハラレ市を中心とした住民、特に多数の貧しい人々にとっては一次から三次まで対応している病院であり、ここの基本的な診断、治療機能を強化する意義はその稗益効果を考えると大きいものである。尚、病院整備計画の一環として小児部門を加えることには問題はない。

無償資金協力と技術協力を結び付けることも意義あるものと考えられる。病院プロジェクトとしての協力や、本病院を中心とした母子保健プロジェクトなど非常に効果的であろう。パリレンヤトワ病院と並ぶ大学の教育病院であることを勘案すると、その稗益効果は大きい。特に referral 病院での協力は国際援助機関より忘れ去られている傾向があり、競合の少ない分野ではある。

2) ジンバブエ大学医学部とパリレンヤトワ病院（付属病院）に対する協力

ジ国唯一の大学の付属病院である。高度医療の実施が可能な部門もあるが、全体的にみると、機材類は老朽化しており、基本的医療器具が不足しているのはハラレ中央病院と同様である。わが国に対する協力要請として、

a：新設される理学療法部門の機材供与

b：学生教習用検査機材の供与

c：HIV/AIDS 対策

d：医学機関誌（THE CENTRAL AFRICAN MEDICAL JOURNAL）に対する援助

などが提案されたが、いずれも小規模無償や単独機材供与等で対応可能なものである。技術協力に関する要望は出されなかった。本病院はわが国 ODA の概要に関し殆ど情報を持たず、かつ、限られた調査では情報収集に制限があるために、本病院との具体的協力案件を提案できるまでには至らなかった。しかしながら、ジ国における医師並びに専門医を初めとする医療関係者が不足していることを考えると、医学教育の分野でも大きなニーズがあることが想像される。

同じ敷地内に保健省の管轄にある Public Health Laboratory があり、大半の検査機器類は老朽化している。なお、本研究所では DANIDA の援助により、HIV/AIDS 診断トレーニングのための技術協力が実施されている。

3) district 病院の整備並びに地域医療活動に対する技術協力

ジ国においては PHC レベルにおける整備はある程度進んでいるが、二次、三次レベルとの連携がうまくいっているとはいい難い。その一つの要因としては、二次医療を担当すべき district 病院の医療機器類の整備や適切な人的配置が遅れていることにある。この

面に対する協力ニーズも高い。

この分野では、世銀の融資を中心としたFamily Health Projectが進行中であり、district病院の整備が実施されているが、一部に留まっている。

特定のdistrictを対象として、一次、二次のレファレル網の機材整備を行い、これに地域保健や母子保健等のプロジェクト方式技術協力を絡ませる協力は、非常に意義あるものである。地域によっては、そこで一番問題になっている疾患、例えばマラリアとか住血吸虫症、HIV/AIDSなどの対策プロジェクトを中心とした技術協力をからませてもいい。

8－6－4　研究機関に対する協力

既に述べたように、ジ国の保健医療面における研究レベルは、周辺の国々と比べて優れており、リーダー的立場にある。しかしながら、最近の経済的困難が原因して、従来の研究教育活動を維持出来なくなりつつある。途上国の保健医療を考えるとき、研究開発活動は、PHC活動などの基本的医療活動等と並行して必須である。特に本国のようにある程度のレベルを持った人材がおり、実績をあげている国に対して、研究教育面における活動を協力支援する効果は大きいものがある。また、わが国研究者との共同研究、共同開発という面からみて、わが国の研究者が得るものも大きく、非常に意義があるものと考えられる。以下にニードの高い研究案件を列記する。

1)　Blair Research Instituteに対する協力

本研究所の業績は既に、別項で説明したように、内外で高く評価を受けている。しかしながら、研究所の建物は狭く、設備は老朽化しており、近代的研究活動を実施するに大きな制限が生じてきている。国際援助機関からの援助も様々な形で受けているが、大半が研究助成金、奨励金などであり、わが国のプロジェクト方式技術協力や無償資金協力などのような大型の協力は行われていない。ここでも、建物の増改築と機材の供与などの無償資金協力と人的交流を持つプロ技を絡ませた協力は非常に有意義であると考える。

本研究所で実施されている研究は、1)マラリア、2)住血吸虫、3)飲料水と衛生、4)保健医療システムなどであり、特にフィールドと密接に結びついた研究が実施されていることに特徴がある。研究成果が地域に還元しやすい形での研究が行われてきており、ブレアー式トイレの開発や地域に適した井戸の改良など世界的に知られている。このような研究は、多くの途上国に普遍的なものであり、わが国との協力によって得られる成果が、ジ国のみに限らず、周辺の国々に及ぼす効果も大きいものと推察される。

研究所全体との無償資金協力や技術協力も可能であるし、マラリアや医療システムなど分野を限った協力も意義ある。

2) HIV/AIDS 対策

ジ国でも HIV/AIDS は深刻な社会問題となっており、今後の数年間は問題はますます大きくなるものと推察されている。このことは全ての保健医療問題に関連するものであり、協力のニーズは高い。しかしながら、この分野では、UNICEF を初めとする様々な国際援助機関が、既に協力を実施しており、“援助の競合”を如何に解決するか、調整が必要である。

わが国では、この分野で対応できる専門家が極端に少ないのも問題である。このことが技術協力面での協力を推進する上で、大きな障害となることが考えられる。この分野での協力は機材や資金供与のみの人的交流を含まない協力か、もしくは、国際機関等とのマルチ協力などが可能であろう。

8－6－5　保健省アドバイザー

わが国にとり、今後アフリカ地域の重要性が高まることが推察され、南アフリカ地域の中心的位置を占めるジ国との協力関係を拡大する意味は大きい。しかしながら、わが国では、ジ国の保健医療分野における情報は非常に少なく、同様に、ジ国政府関係者もわが国の保健医療の現況に関する知識は皆無に近く、かつわが国の政府開発援助の詳細は殆ど伝えられていない。この様な中で、将来の案件発掘を一つの目的とした保健省アドバイザーの派遣は有意義なものと考える。ジ国の保健医療システムは、周辺国に比べると比較的整備されているとはいえ、政府予算削減の中での末端組織の維持、改編や、二次、三次網との連携、二次、三次施設の整備など問題は山積しており、国際援助機関のアドバイザーグループの一員として参加することも可能である。8－6－3の3)項に述べた district 病院整備と地域医療活動に対する技術協力等のプロジェクトを開始する前にアドバイザーを派遣し、企画することは、優良案件形成につながる。

8－6－6　その他

1) 母子保健（人口家族計画対策を含む）

UNICEF を中心として広く活動が実施され、政府の PHC を重視した保健医療政策と相まって、大きな成果をあげてきた。乳児死亡率や妊産婦死亡率などの指標の改善も目ざましいものがある。しかしながら、1990年以降、usar charge の導入などで経済的負担が増大したことに伴い、医療施設の受診率や死亡率などが悪化する傾向にある。

一方、ジ国の人口増加率は依然として高く、UNFPA を中心に様々な活動が実施されているが、期待したほどの成果はみられていない。

ジ国政府は母子保健対策に重点を置き、母子医療施設の強化を計るために、わが国に対し、既にムピロ中央病院産科病棟とハラレ中央病院小児科病棟の整備計画を要請したことは既に述べた。このような無償資金協力計画の場を母子保健プロジェクトのセンタ

一として技術協力を進める方法は、他の援助機関が実施してきた援助形態とは異なっており、競合する点も少ないと考えられる。

2) 結核対策

HIV/AIDS の蔓延に伴い、一時減少していた結核患者は爆発的に増え、その対策の必要性に迫られている。診断機能の向上、地方における患者の診断、治療へのアクセス、治療薬の安定した供給、治療の中断など様々な問題が存在する。それぞれにおけるニーズは高いが、HIV/AIDS と一体化した対策、協力が求められており、様々な援助機関との調整が必要である。

ジンバブエ共和国感染症基礎調査収集資料一覧

国の概況と国家開発計画

1 国際協力事業団：「ジンバブエ」国別情報ﾌｧｲﾙ

2 国際協力事業団：「ジンバブエ」任国事情、1992

3 国際協力推進協会：「ジンバブエの経済社会の現状」 1990

4 RUPUBLIC OF ZIMBABWE : SECOND FIVE-YEAR NATIONAL DEVELOPMENT PLAN 1991 - 1995, 1991

5 RUPUBLIC OF ZIMBABWE : Tranasitional National Development Plan 1982/83 - 1984 /85 Volume 1, november 1982

6 RUPUBLIC OF ZIMBABWE : Tranasitional National Development Plan 1982/83 - 1984 /85 Volume 2, may 1983

7 RUPUBLIC OF ZIMBABWE : Budget Statement 1993, july 1993

8 RUPUBLIC OF ZIMBABWE : Finance Act, 1992

9 E. Nhandara et al. : Geography Today Human and Economic, 1989

10 Central Statistical Office : Statistical Yearbook, 1989

11 Central Statistical Office : Census 1992, 1992

12 Central Statistical Office : Quarterly Digest of Statistics, September 9, 92

13 Central Statistical Office : Combined Demographic Analysis Volume I, November 1992

14 Central Statistical Office : Combined Demographic Analysis Volume III Raw Data, November 1992

15 Central Statistical Office : Production Account Agriculture, Forestry and Fishing, August 1993

経済と経済構造調整政策 ESAP

16 Government of Zimbabwe : A Framework for Economic Reform 1991-95, Jan. 1991

17 Government of Zimbabwe : Social Dimensions of Adjustment (SDA), 1991

18 UNICEF: Government Spendings on Social Services and the Impact of Structural Adjustment in Zimbabwe(Munhamo Chisvo-Consultancy Report), 1993

19 Government of Zimbabwe Inter-Ministerial Committee on Social Dimensions of Adjustment(SDA) Monitoring : Findings from The Second Round of Sentinel Surveillance for SDA monitoring, January 1993

20 Government of Zimbabwe Inter-Ministerial Committee on Social Dimensions of Adjustment(SDA) Monitoring : Findings from The Third Round of Sentinel Surveillance for SDA monitoring, August 1993

21 Journal of social development in africa, Volume 5 No 2 1990

最低賃金等雇用に関する法令

22 Statutory Instrument 377 of 1992 Labour Relations(Domestic workers) Employment Regulations

23 Statutory Instrument 45 of 1993 Collective Bargaining Agreement: Commercial Sector

24 Statutory Instrument 84 of 1993 Collective Bargaining Agreement: Motor Industry

25 Statutory Instrument 163 of 1993 Collective Bargaining Agreement: Construction Industry

26 Statutory Instrument 246 of 1993 Collective Bargaining Agreement: Leather, Skins, Footwear, Sports Equipment and Travel Goods Manufacturing Industries

27 Statutory Instrument 274 of 1993 Labour Relations

保健医療概況、政策

28 REPUBLIC OF ZIMBABWE/UNICEF : CHILD and WOMEN in ZIMBABWE - A SITUATION ANALYSIS UPDATE, 1990

29 WHO Regional Office for Africa : Evaluation of the strategy for health for all by year 2000, 1987

30 COSV : ZIMBABWE

31 Ministry of Health and Child Welfare/Central Statistical Office : Health Statistics Annual Report, 1991

32 Minstry of Health : Zimbabwe Health for All Action Plan 1985-1990

33 Ministry of Health and Childwelfare : Corporate Plan, 1993

34 Ministry of Health and Childwelfare : Action Plan, 1993

35 Government of Zimbabwe : Children - Our Second decade of Progress and Development

36 Government of Zimbabwe : Zimbabwe National Programme of Action for Children - Our Second decade of Progress and Development, 1992

保健医療施設

37 Ministry of Health and Child Welfare : Zimbabwe Health Facilities(Report 1992)

38 Ministry of Health and Child Welfare : Zimbabwe Health Facilitiesバラの資

料
39 Ministry of Health and Child Welfare Ministry of Health : Five Year National Development Plan 1991/92 - 1995/96（設備整備計画等）
40 Mpilo Central Hospital ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ
41 The Avenues Clinic 関係資料
42 Harare Central Hospital 21st Anniversary 1958-1979
43 Harere Central Hospital
44 Zimbabwe Trditional and Medical Clinic関係資料

保健医療従事者
45 Ministry of Health and Child Welfare:Health Human Resources Master Plan 1993-1997
46 Ministry of Health and Child Welfare : Traning Programmes 1993
47 Shiraz Ramji and Jo Doran : Women and Bicycle Usage Study amongst Village Community Workers in Zimbabwe, 1992
48 University of Zimbabwe : Village Community Workers in Zimbabwe - Report on District Surveys, January 1993

保健医療財政
49 IBRD : Zimbabwe - Financing Health Services, 1992
50 Medical Aid のﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ等の資料

研究機関
51 Blair Research Laboratory/MOHCW : Annual Report 1991
52 Blair Research Laboratory/MOHCW : Essential National Health Research Action Plans 1993/1994, 1993
53 Blair Research Laboratory, NACP/MOHCW and Unicef : Directory of Socio-vihavioural Research on HIV infection and AIDS in Zimbabwe1992
54 Blair Research Laboratory/MOHCW : The Medical Research Council of Zimbabwe, Vol. 1 No. 2 August 1992
55 Blair Research Laboratory/MOHCW : The Medical Research Council of Zimbabwe, Vol. 1 No. 3, December 1992
56 Blair Research Laboratory/MOHCW : Health Systems Research Unit, 1992
57 S. K. Chandiwana : The role of research in strengthning health programme : Zimbabwe's Experience, 1992

58 Blair Institue of Biomedical and Essential National Health Research
ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ
59 Blair Research Laboratory/MOHCW : Epidemiology in Health Care Delivery - Proceedings of the fourth African Regional Conference of the IEA Harare, Zimbabawe 7-11 August 1989, 1991
60 Peter Morgan : Rural Water Supplies and Sanitation A text from Zimbabwe's Blair Research Laboratory

医薬品

61 Ministry of Health : Essential Drugs Survey 1991
62 Ministry of Health : EDLIZ 1989
63 Zimbabwe Regional Drug Control Laboratory (ZRDCL)

疾病対策

（マラリア）

64 Ministry of Health and Child Welfare: Plan for Malaria Control in Zimbabwe
65 Ministry of Health and Child Welfare : Strengthening The National Malaria Control Programme - Project proposal for external assistance (in collaboration with WHO Representation, Zimbabwe)

（結核）

66 Government of Zimbabwe and WHO : A Comprehensive Review of the National Tuberculosis Programme in Zimbabwe
67 1992 TB Annual Report Figures

（エイズ）

68 Ministry of Educaion and Culture : Let's Talk - An Aids Action Programme for Schools Grade 7 Pupils Book
69 UNICEF : Information, Education and Communication for AIDS Prevention in Zimbabwe, 1991
70 Zimbabwe Aids Network : Communicating aboutb AIDS, 1993
71 NACP : HIV statistics 2nd quarter 1993
72 Health Information Unit & National AIDS Coordination Program/MOHCW : HIV and AIDS surveillance Report 1992 Annual Report
73 Overview of Aids Prvention and Control in Zimbabwe 1982-1992
74 Republic of Zimbabwe : Strategic Plan for the Development of Multi-

sectoral Second Midium Plan for HIV/STD prevention, control and care(Draft)

国際協力

75 World Health Oraganization : Annual Report 1991, May 1992

76 World Health Oraganization : Proposed Programme Budget, September 1992

77 World Health Oraganization : Accelerating the achivement of health for all africans, january 1989

78 The World Bank : First and Second Family Health Projects, Review Mission 1993

79 The World Bank : Staff Appraisal Report - Sexually Transmitted Infection Prevention and Care Project, may 28, 1993

80 UNICEF : Programme of Cooperation 1992-1996

80-2 UNICEF : Programme of Cooperation 1994-1999(Draft)

81 Government of Zimbabwe and UNICF : Cost, Resources and Financing the Health Sector

82 UNICEF : Reducing Under Five Mortality, 1992

83 UNDP : Development Co-operation 1991 Report, November 1992一部ｺﾋﾟｰ

84 UNDP : Third Country programme for Zimbabwe

85 UNFPA : Assistance to the Government of Zimbabwe - support for a comprehensive population programme

86 UNFPA : Contraceptive Requirements and logistics management needs in Zimbabawe, 1992

87 Zimbabwe Child Survival and Development Foundation:Support to AIDS orphans

88 国際協力事業団：ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ共和国中央病院施設ﾘﾊﾋﾞﾘ計画基本設計調査報告書、平成３年３月

89 国際協力事業団：ﾏﾀﾞｶﾞｽｶﾙ、ﾏﾗｳｲ、ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ感染症対策協力調査団報告書、昭和63年3月

地域医療に関する援助ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ等

90 WHO/Zimbabwe : Chinyamukwakwa Community Development Project - Chipinge District, October 1992

91 Chipinge District/Zimbabwe : Chinyamukwakwa Community Development Project Status Report January - March 1993

92 Medicus mundi : Strenghtening District Health Services in Murewa, Tsholotsho District, Zimbabwe

93 Murewa District Hospital : A local initiative

94 NM Lenneiye : Developing an integrated District Health System Based on Primary Health Care - The Zimbabwe Experience July 1991

95 Ministry of Health : Planning Guidance Health Center Level, 1989

96 Murewa District : Project Proposal for Hwedza District Council Integrated Primary Rural Water Supply Project

97 Zimbabwe Public Health Association - ZPHA のパンフレット

研究雑誌類

Central African Journal of Medicine

98 R. J. Ndlovu : Helath for all - Interpretation of meaning by newly qualified general and staff certified nurses Vol 37, No. 6 1991

99 P. R. Mason, I. Kitai, S. Chigonde : Community Acquired staphylococcal skin infections in rural areas of Zimbabwe Vol 37, No. 2 1991

100 P. J. Iliff, N. kenyon : Perinatal mortality statistics in Harare 1980-1989 Vol 37, No. 2 1991

101 F. B. Nhachi etc. Drug Utilisation, supply and expenditure at Chitingwiza Gweru, Mpilo, Parirenyatwa and United Bulawayo Hospitals in One Year (1987-1988) Vol 37, No. 6 1991

102 A. P. Cavender : Traditional medicine and an inclusive model of health seeking behaviour in Zimbabwe Vol 37, No. 11 1991

103 T. Marufu : The changing age ecology of measles and its implications on measles control Vol 38, No. 6 1992

104 J. Kasule etc. : Norplant in Zimbabwe : preliminary report Vol 38, No. 8 1992

105 H. J. M. Finkenflugel : Identifying people in need of rehabilitation in rural Zimbabwe Vol 37, April 1991

106 K. Denhe etc. : Pattern of HIV-infection in Hurungwa district, Mashnaland West, Zimbabwe Vol 38, No. 4 1992

107 C. Simango : Bacterial contamination of food and household stored drinking water in a farm worker community in Zimbabwe. Vol 38, No. 4 1992

108 O. J. Kasilo and etc. : Epidemiology of household medications in urban

Gweru and Harare Vol 37, No.6 1991
109 S.K. Chandiwana, et.al:Community control of schistosomiasis in Zimbabwe Vol 37, No.3. March,1991
110 P.Ndhlovu, et.al: Progress in the control of Schistosomiasis in Zimbabwe seince 1984, Vol.38,. no.8.1992
111 R.J.D.Moy, et.al: Early growth faltering in rural Zimbabwean children Vol 37, No 9, September 1991
112 J.K.Tumwine, et.al:Child Survaival in a rural area in Zimbabwe: are we winning?, Vol.38, no.1.1992
113 S.K. Chandiwana:Development of Health Systems Research and National HSR networking in zimbabwe, Vol.38, no.7,July 1992
114 J.Kasule, et.al: Evaluation of a combined oral contraceptive pill in black Zimbabwean women, Vol.37, no..1992
no.10.1992
115 L.F.Levy : The diminishinig medical population(and other medicl professionals), Vol.38, no.5. May1992
116 Letters to the editor about "Diminishing Medical Population", Vol.38,
117 K. Mahomed, et.al : Seroprevalence of HIV infection amongst antenatal women in greater Harare, Zimbabwe, Vol.37,no.10, October 1991
118 S. Huston, et.al : Therapeutic Review - tuberculosis , Vol.37,No.8, August.1992
119 D.Munodawafa : Attitudes of Teachers toward implementing AIDS prvention education prorammes in secondary schools of Zimbabwe, Vol.37, no.12, Dcember,1991
120 M.T.Mbizvo: Condom acceptanceand HIV prevention in reproductive health-The challenges, Vol.37, No.12.December,1991
121 D.A.Verkuyl:Family planning in Zimbabwe in the nineties Vol.37, no. 10, october 1991

Bulletin of the World Health Organization
122 R.A.Kambarami and etc. :Measles epidemic in Harare, Zimbabw, despite high measles immunization coverage rates 69(2)1991
123 A.A.Khan :Oral health manpower projection methods and thier implication for developing countries;thecase of Zimbabwe 69(3)1991
World Health Forum

124 H.Finkenflugel : Help for disabled - in hospital and at home Vol.12 1991
125 T.J.Stamps : Who really cares for Africa ? Vol.14 1993
126 E.H.Froese : Meeting the pharmaceutical needs of a developing country Vol.12 1991

Social Science and Medicine

127 Agnes Ruganga and etc. : The use of herbal and other agents to enhance sexual experience Vol.35 No.8 1992
128 M.Freeman and etc. : Planning Health Care in South Africa - is there a role for traditional healers? Vol.34 No.11 1992
129 Rene Loewenson ,et al. : Challenges to equity in health and health care-A Zimbabwean case study Vol .32, No. 10, 1991
130 R.Korte,et al.:Financing Health Services in Sub-saharan Africa-Option for decision makers during adjustment Vol 34, No.1,1992

その他の雑誌

131 X.de Muylder : Is it worth weighing pregnant women in developing country Archives of Gynecology and Obstetrics,(1992)251
132 C.G.A. Aiken : HIV-1 infection and perinatal mortality in Zimbabwe Archives of Disease in Childhood 1992:67
133 B.H.M. Wolf : Death at home and in hospital in Zimbabwe Archives of Disease in Childhood 1992:67
134 D.Munodawafa : Planning a programme to trace sexually transmitted Diseas contacts in Zimbabwe : input from local Health Clinic Nurses, Hygie Vol X 1991/1
135 R.A.Kambarami : Measles epidemic in Harar, Zimbabaw, despite high measle immunization coverage rates, Bulletin of the World Health Oragnization, 69(2),1991

136 有吉紅也：ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴの保健医療の現況、日本公衆衛生誌　第38巻8号

137 調査団に提出された要望（JICAへの正式な要請という意味を持たないということを確認した上で受け取ったもの。現場ではどのような協力を必要としているかをしめす資料として意味がある）
ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ大学医学部、ﾌﾞﾚﾌｰ研究所、ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ地域医薬品品質管理研究所
ﾑﾚﾜ郡病院

138 ﾊﾗﾚ市街地図

139 ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ地形図、大判

図目次

図１－１　アフリカ大陸とジンバブエ …… 16
図１－２　ジンバブエ地形図 …… 16
図１－３　コミューナル・ランドの分布 …… 19
図１－４　ジンバブエの人口分布 …… 21
図１－５　労働力人口と非労働力人口（1987） …… 23
図１－６　国家行政組織図―1992年12月現在 …… 28
図１－７　地方行政の仕組み …… 29
図１－８　行政区分（県） …… 30

図２－１　保健医療行政 …… 53
図２－２　保健児童福祉省組織図 …… 54
図２－３　地方保健医療活動運営の仕組み（農村部） …… 58
図２－４　ジンバブエの保健医療施設の分布 …… 71
図２－５　保健省一人当実質経常支出の推移（1975―92） …… 87

図３－１　小学校就学児童数の推移（1975―92） …… 100
図３－２　人口ピラミッド（1991） …… 101
図３－３　AIDS の累積患者数の推移（1987－91） …… 106
図３－４　HIV に関する疫学調査実施地点 …… 107
図３－５　性行為感染症の症例数の推移（1986－92） …… 109
図３－６　年齢・性別の累積 AIDS 患者数（1987－93年３月） …… 110
図３－７　献血件数とそのうちの HIV 抗体陽性件数の推移（1986－91） …… 113
図３－８　献血件数に占める HIV 陽性件数割合の推移（1986－92） …… 114
図３－９　コンドーム配布数の推移（1988－92） …… 116
図３－10　人口10万人対の結核患者数の推移（1962－91） …… 119
図３－11　人口10万人対の年齢層別患者数（1989，90） …… 123
図３－12　年齢層別の結核による死亡率の推移（1980－90） …… 124
図３－13　ハラレ市における年齢層別の結核患者死亡割合（1980－90） …… 124
図３－14　マラリアの流行地域 …… 129
図３－15　８－10歳児の住血吸虫感染状況 …… 143

図４－１　一人あたりの実質政府保健支出の増減（1975―92） …… 158
図４－２　人口10万人あたりの公的機関の看護婦数の推移（1988―92） …… 159

表目次

表１－１　人種構成の推移 …… 22
表１－２　フォーマル・セクターの部門別年平均雇用者数 …… 24
表１－３　一人当たり実質国内総生産の推移（1979―1988） …… 40
表１－４　地域別家計年間収支―1985 …… 41
表１－５　世帯別平均食糧消費量―1985 …… 44
表１－６　学校年齢層に占める就学者数の比率 …… 47
表１－７　小学校数と性別生徒数　1979―1989 …… 47
表１－８　1978年から1988年の退学者、卒業者数の推移 …… 49

表２－１　保健医療施設の種類と数 …… 66
表２－２　県別保健医療施設の種類と数 …… 69
表２－３　県別保健医療施設当たり人口と面積、ベッド当たり人口 …… 70
表２－４　Registered Health Professional Manpower 1980 to 1991 …… 76
表２－５　公共保健医療施設における保健医療従事者数 …… 77
表２－６　ヴィレッジ・コミュニティー・ワーカーの養成　1981―1987 …… 78
表２－７　保健省の保健医療施設で働く外国人の割合 …… 80
表２－８　保健医療従業者養成機関一覧 …… 82
表２－９　財源、サービス提供機関に見た保健医療支出の額と割合　1986―1987 …… 85
表２－10　Allocation between the four branches of the ministry …… 88
表２－11　Broad Expenditure Items Share in Overall Ministry of Health Budgt（1980―1990） …… 89
表２－12　Analysis of grants …… 90
表２－13　Composition of MOH Expenditure. 1986―87 …… 91
表２－14　Capital Expenditur for Health. 1982―88 …… 92

表３－１　HIV 陽性率に関する疫学調査の結果 …… 112
表３－２　結核患者数の推移（1962－1991） …… 120
表３－３　各県別の結核感染率（1989, 90） …… 121
表３－４　性別・年齢層別結核感染率（1989, 90） …… 125
表３－５　マラリア流行地域の推定人口（1991） …… 128
表３－６　県別のマラリア流行地域人口（1991） …… 128

表３－７　マラリア原虫種別の感染状況 …… 131
表３－８　県別のマラリア患者数（1991）…… 132
表３－９　年齢層別マラリア患者数（1991）…… 133

略語表

AIDS	Acquired Immunodeficiency Syndrome	後天性免疫不全症候群
ARI	Acute Respiratory Infection	急性呼吸器疾患感染症
CDD	Control of Diarrhea Disease	下痢疾患対策
CIDA	Canadian Internaional Development Agency	ｶﾅﾀﾞ国際開発庁
CSO	Central Statistical Office	中央統計局
DANIDA	Danish International Development Agency	ﾃﾞﾝﾏｰｸ国際開発庁
DDC	District Development Committee	郡開発委員会
DHE	District Health Executive	
DMO	Distrcit Medical Officer	郡保健医療事務所長
DNO	District Nursing Officer	郡看護行政官
DHSA	District Health Service Administrator	郡保健医療ｻｰﾋﾞｽ事務官
DDT	Dichloro-diphenyl-trichloroethane	ﾃﾞｨｰﾃﾞｨｰﾃｨｰ
EC	The European Community	ﾖｰﾛｯﾊﾟ共同体
EHT	Environmental Health Technicin	環境保健技師
EPI	Expanded Programme on Immunization	拡大予防接種計画
ESAP	Economic Stractural Adjustment Program	経済構造調整政策
FHP	Family Health Project	ﾌｧﾐﾘｰ・ﾍﾙｽ・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
FP	Family Planning	家族計画
GDP	Gross Domestic Product	国内総生産
GMO	Government Medical Store	政府医薬品倉庫
GOZ	Government of Zimbabawe	ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ政府
HIV	Human Immunodeficiency Virus	ﾋﾄ免疫不全ｳｲﾙｽ
IDRC	International Development Research Council	
IEC	Information Education and Communication	情報、教育、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ
LSCF	Large Scale Commercial Farm	大規模商業農家
MCH	Maternal and Child Health	母子保健
MPCNH	Ministry of Public Construction and National Housing	建設・住宅省
MOH	Ministry of Health	保健省（旧称）
MOHCW	Ministry of Health and Child Welfare	保健児童福祉省
NACP	National Aids Coordination Program	全国ｴｲｽﾞ調整ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
NGO	Non-Governmental Organization	非政府機関
NORAD	Norwegian Agency for International Development	ﾉﾙｳｪｰ国際開発庁

ODA	Overseas Development Adminstration	海外開発庁
ORS	Oral Rehydration Salts	経口補水塩
PHE	Provincial Health Executive	
PMD	Provincial Medical Director	県保健医療事務所長
PNO	Provincial Nursing Officer	県看護行政官
DHSA	Provincial Health Service Administrator	県保健医療ｻｰﾋﾞｽ事務官
PDC	Provincial Development Committee	県開発委員会
PHC	Primary Health Care	ﾌﾟﾗｲﾏﾘｰ・ﾍﾙｽ・ｹｱｰ
RHC	Rural Health Center	ﾙｰﾗﾙ・ﾍﾙｽ・ｾﾝﾀｰ
SCN	State Certified Nurse	准看護婦
SDF	Social Development Fund	社会開発基金
SIDA	Swedish International Development Asssociation	ｽｴｰﾃﾞﾝ国際開発庁
SRN	State Registered Nurse	正看護婦
SSCF	Small Scale Commercial Farm	小規模商業農家
SADCC	Southern African Development Co-ordination Conference	南部ｱﾌﾘｶ開発調整会議
SSS	Sugar and Salt Solution	砂糖と塩を用いた補水液
STD	Sexually Transmitted Disease	性行為感染症
UNICEF	United Nations Children's Fund	国連児童基金
UNFPA	United Nations Fund for Population Activities	国連人口基金
USAID	United States Agency for International Development	米国国際開発庁
VCW	Village Community Worker	村落ｺﾐｭﾆﾃｨｰ・ﾜｰｶｰ
VIDCO	Village Development Committee	村落開発委員会
VIP	Ventilated Improved Pit (Latrine)	換気改善型ﾄｲﾚ
WADCO	Ward Development Committee	区開発委員会
WHO	World Health Organization	世界保健機構
ZANU	Zimbabwean African National Union	ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ・ｱﾌﾘｶ民族同盟
ZAPU	Zimbabwean African People's Union	ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ・ｱﾌﾘｶ人民同盟
ZEDAP	Zimbabwe Essential Drugs Action Programme	ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ必須医薬品ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
ZEPI	Zimbabwe Expanded Programme on Immunization	ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ拡大予防接種計画
ZNFPA	Zimbabwe Family Planning Council	ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ全国家族計画評議会

JICA